

用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規 ● ピンセット
- のり(合成ゴム系接着剤がオススメ、または木工用接着剤)
- 折リスジを付けるための道具(鉄筆や、インクの切れたボールペン)
- つまようじ ● 工作用マットなど

作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。
2. 山折り、谷折りの線に沿って折り目をつけます。
鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。
印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
※折るところはしっかり折るのがポイントです。
3. 接着する前に、組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。
4. 接着剤は 紙のへら(紙の余白を利用してへらを作る)や、つまようじなどを使ってうすく塗るときれいに仕上がります。
※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4・・・と組み立てていくのが約束です。展開図の灰色の数字や文字はその番号のパーツを接着するところです。
図中の のところは紙の裏側、各色の はのりづけするところを表しています。
パーツNo.後ろの L/Rはピット後方から見て L は左側、R は右側を表しています。
※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

※ペーパークラフトをより美しく仕上げるためのコツや作り方はホームページ内のペーパークラフト入門を参考にしてください。

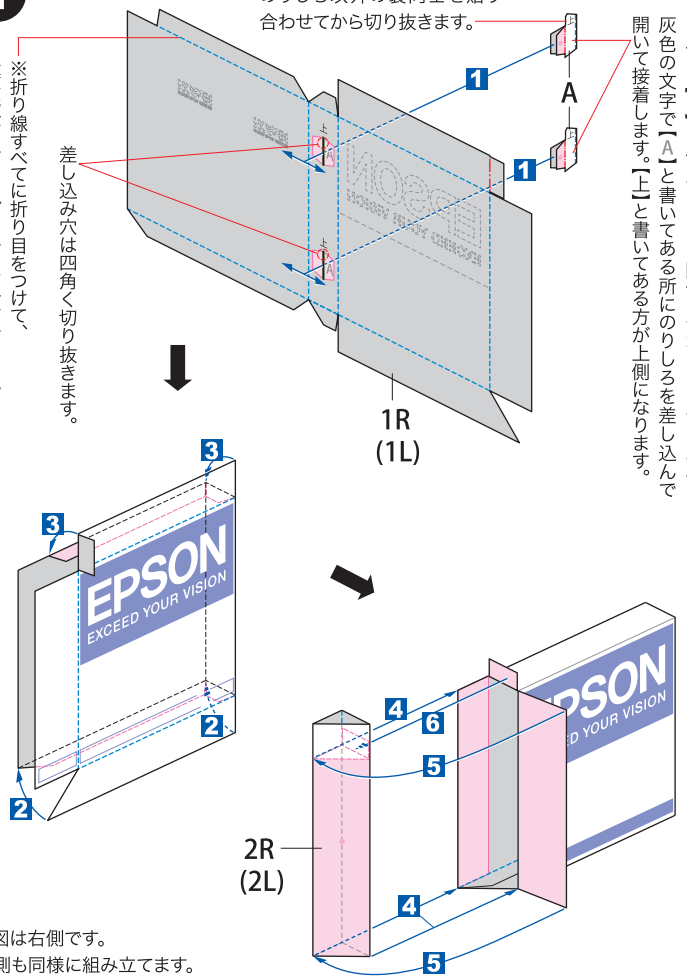
1

※折り線すべてに折り目をつけて、一度完全に折り曲げてから、組み立てます。

差し込み穴は四角く切り抜きます。

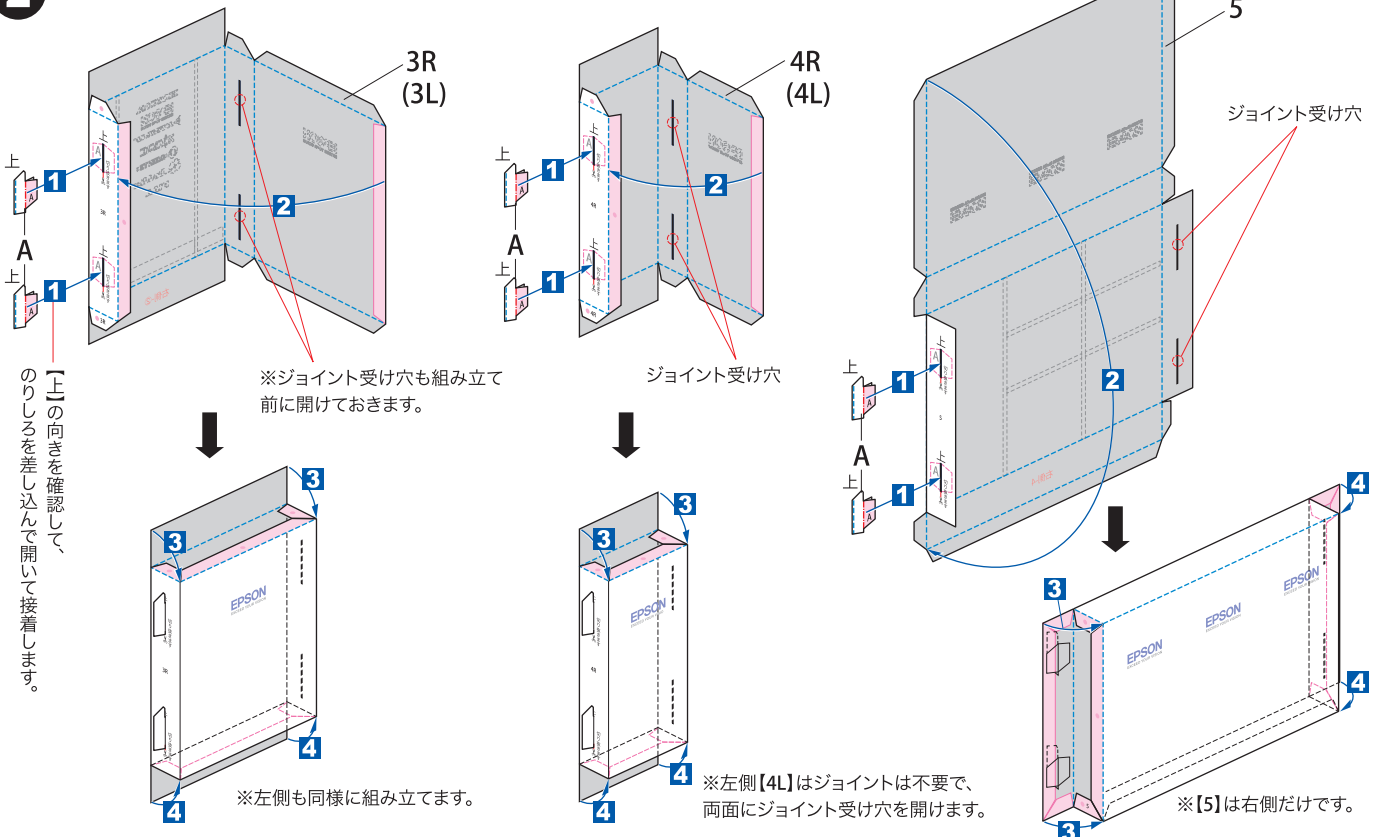
のりしろ以外の裏同士を貼り合わせてから切り抜きます。

※パーツ「A」はパーテーション同士をつなぐジョイントです。灰色の文字で「A」と書いてある所にのりしろを差し込んで開いて接着します。「上」と書いてある方が上側になります。



※図は右側です。左側も同様に組み立てます。

2



「上」の向きを確認して、のりしろを差し込んで開いて接着します。

※ジョイント受け穴も組み立て前に開けておきます。

ジョイント受け穴

※左側も同様に組み立てます。

※左側【4L】はジョイントは不要で、両面にジョイント受け穴を開けます。

※【5】は右側だけです。

Pit Partition 2015

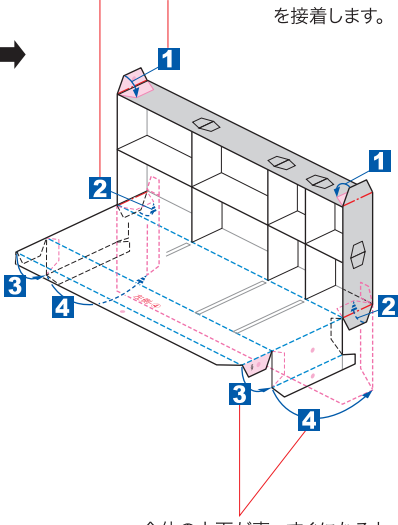
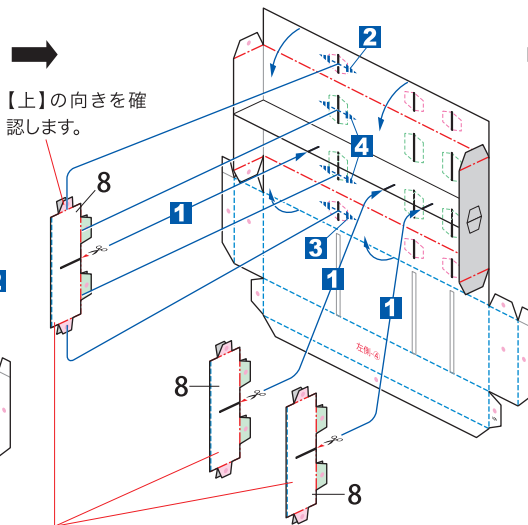
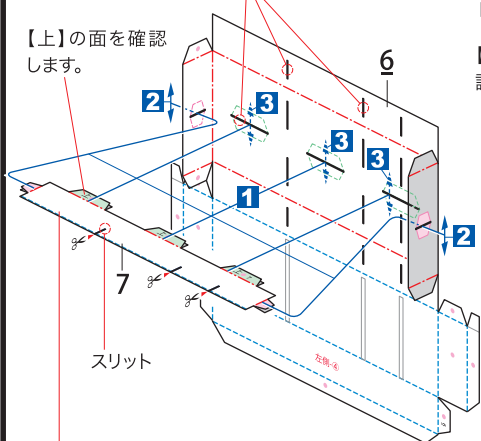
差し込み穴は組み立てる前にすべて四角く切り抜きます。(17ヶ所)

※折り線すべてに折り目をつけて、一度完全に折り曲げてから組み立てます。

【上】の面を確認します。

【上】の向きを確認します。

先に棚部分の四隅ののりしろを接着します。



横板は3ヶ所にスリットを入れて、のりしろをすべて差し込んで位置を決めてから、左右を先に接着します。

まず、横板と縦板のスリット同士を3枚とも差し込んで、のりしろもすべて差し込みます。位置が決まったら、上下ののりしろを先に接着します。

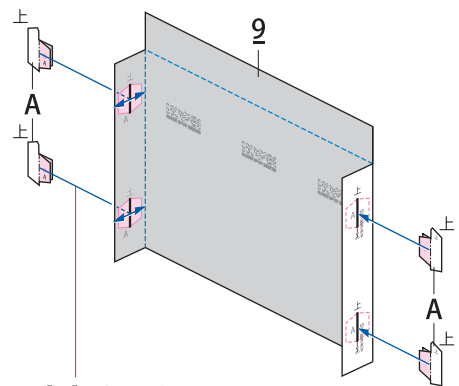
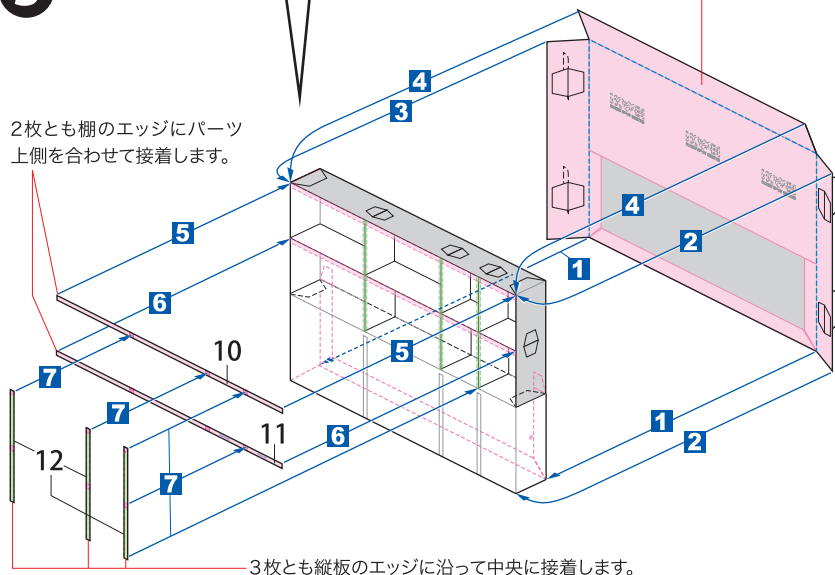
全体の上下が真っすぐになるようにしていねいに組み立てます。

3

下の辺を先に接着してから、各角を合わせて接着します。

このパネルは左右両側にジョイント[A]を接着します。

2枚とも棚のエッジにパーツ上側を合わせて接着します。



【上】の向きを確認して、のりしろを差し込んで開いて接着します。

3枚とも縦板のエッジに沿って中央に接着します。

4

※ジョイント受け穴は組み立て前に開けておきます。

